

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた地方創生の今後の方向性について

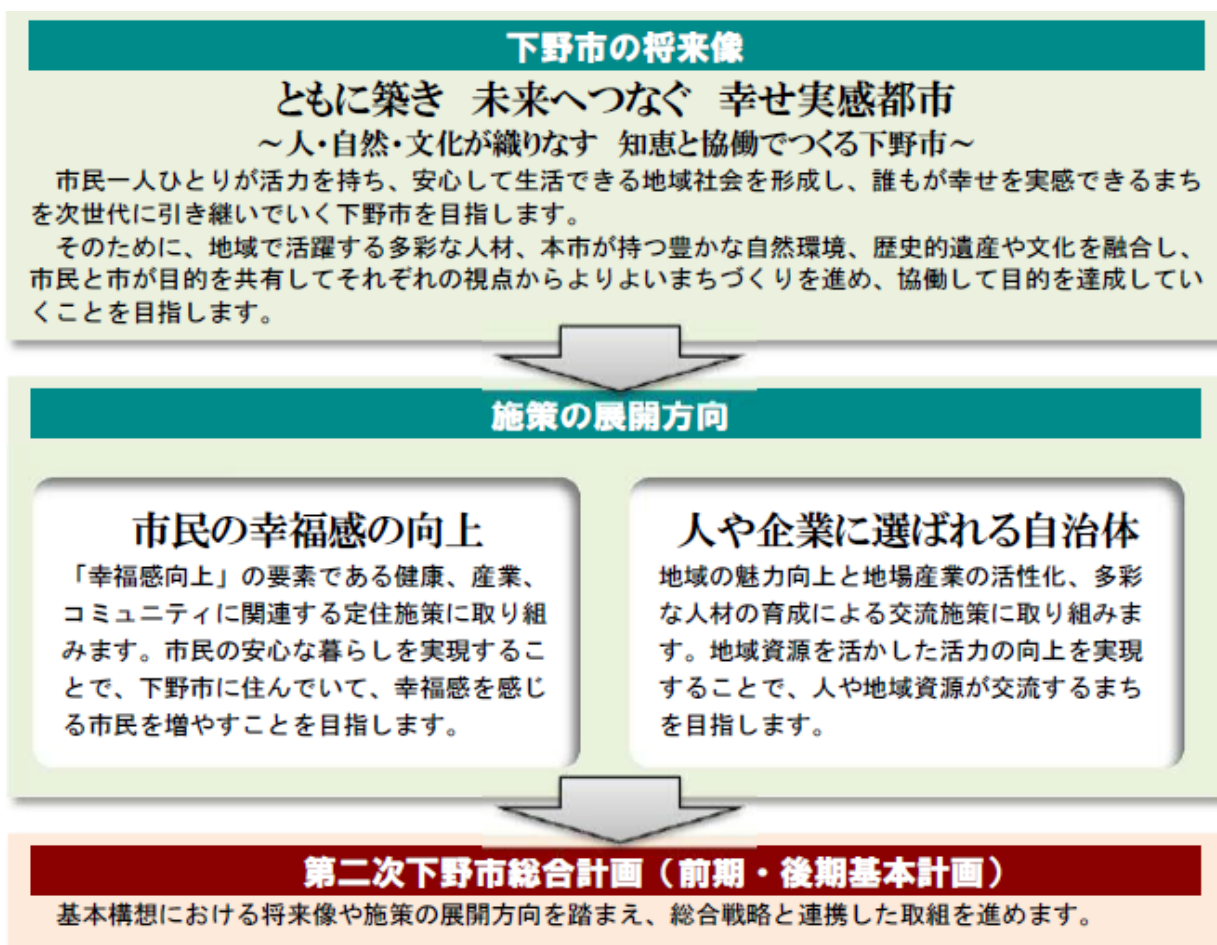
1. 下野市の現状と今後の地方創生の方向性

下野市では、地方創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的に策定した「第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和2年度からスタートしました。しかし、2019年12月に中華人民共和国において初めて確認された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が感染拡大し、2021年1月現在も世界的大流行となっており、地方創生の推進に大きな影響を与えています。

このコロナ禍において、経済性や利便性を重視した東京圏への一極集中の社会構造やデジタル化の遅れなど、多くの課題が顕在化しております。一方で、地方移住のニーズの高まりやテレワークなどの働き方に対する考えに変化が生じるなど、地方に新たな価値観を見出す機運が生まれています。

また、総合戦略は、第二次下野市総合計画と連携した取組を進めており、令和2年度に策定が行われている総合計画後期基本計画ではコロナ禍の下野市の対応が取り入れられています。

【「第二次下野市総合計画」における施策の展開方向について】



そのようなコロナ禍での地方創生を推進するために、総合戦略を見直し、

- **新型コロナウイルス感染症の感染拡大により顕在化した課題の解決**
- **ポストコロナ社会に生まれた新しい価値観に基づく地方創生の推進**
- **後期基本計画と連携したコロナ禍の取組の推進**

の3つの方向性による改訂をさせていただきます。

2. 総合戦略の見直しについて

【総合戦略の具体的な変更点】

第1章 基本的な考え方

5 下野市における第二期総合戦略の基本的視点（第二期総合戦略3頁）

（前略）さらに新たな視点として横断的な取組が必要となる Society5.0 や SDGs などを含めつつ、**2019年12月に中華人民共和国において確認され、2021年1月現在も世界的な大流行となっている新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応するように**総合戦略における施策・事業の見直しを行います。

見直しの視点③ 新たな視点を取り入れた新たな取組の立案（第二期総合戦略9頁）

（前略）さらには、**2019年12月に中華人民共和国において確認され、2021年1月現在も世界的な大流行となっている新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応する「新しい生活様式」の推進や、**長期的な将来を見据え、各分野における Society5.0 の実現に向けた未来技術の活用を検討していきます。

第2章 基本目標と基本的方向及び具体的な施策

基本目標	具体的な追加事業	該当頁
2. 東京圏からの新しいひとの流れをつくる	（ウ）シティプロモーションの推進と関係人口の創出・拡大 「サテライトオフィス等推進事業」	20頁
4. 安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる	（イ）生涯にわたって学習できる環境づくり ①将来を担う人づくり ■教育環境の充実 「リモート学習環境整備」	31頁
	（ウ）安全・安心・快適な環境づくり ④健全な行財政運営の仕組づくり ■行財政改革の推進 「新型コロナウイルス感染症の市財政への影響の把握と長期財政健全化計画の見直し」 「感染症等に対応したBCP（業務継続計画）の推進」	36頁